

きみつ市議会 だより

CONTENTS

- 2 第2回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(11議員が質問)
- 10 委員会の焦点



第2回定例会

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより編集委員会



ごしょう
後生橋（中富地先）

ドローンを活用した橋梁点検「君津モデル」

君津市では市の職員自らがドローンを操縦し橋梁点検を行うことで、外部に点検委託をするより大幅な予算の縮減を図っています。

点検結果をもとに橋梁の健全性を判断するこれらの先進的な取組は「君津モデル」として、多くの他自治体議会が本市へ視察に訪れています。



第2回 定例会 の あらまし

主な日程

第2回定例会（6月）	
2(金)	本会議（招集日） 諸般の報告・会期の決定・議案等の上程・議案の一部採決など
8(休) 9(金)	本会議 一般質問
12(月)	本会議 一般質問・議案等に対する質疑、委員会付託
15(休)	総務常任委員会 ※正副委員長の互選を行い、 ・高橋 健治 委員長・磯貝 清 副委員長 がそれぞれ決定しました。
16(金)	教育福祉常任委員会
19(月)	建設経済常任委員会
23(金)	本会議（最終日） 委員長報告・討論・採決 など

令和5年度一般会計補正予算など

議案29件、請願1件、
陳情2件を議決

第2回定例会は、6月2日から6月23日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和5年度君津市一般会計補正予算（第3号）など市長提出の27議案、委員会提出の2議案、請願1件及び陳情2件を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意・採択されました。

一般質問では、11人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

本会議討論



●議案第17号

君津市税条例の一部を改正する条例の制定について

反対

電動キックボード等への課税については、電動アシスト自転車に課税対象でないため合理性に欠ける。また、森林環境税という名目で新たに1人あたり1,000円という負担を強いることは認められない。

賛成

電動キックボード等への課税については、電動モビリティの普及への適切な対応がなされているものと理解する。また、森林環境税については、国税として徴収されたのち、各自治体に配分されるものであり、

森林面積の広い本市においては貴重な財源となり、災害防止のための森林整備などへの活用が期待される。

●議案第26号

損害賠償の額の決定について

●議案第27号

令和5年度君津市一般会計補正予算（第4号）

反対

管理責任が問われる人からの弁償について明らかになっていないことや9月中旬に予定している修学旅行の代金の支払期限が直前に迫っていない中で、この時期に市税を投入し、急いで賠償しようとすることに疑義があることや、市・県の動向・方針に関し、不足している情報が多く、議論が尽くされていないと考えることから反対する。また、議案第27号についても、議案第26号に関連する予算が計上されているため反対。

賛成

市は不祥事を起こした当該職員の利用者としての責任を有していることや教育的配慮から、生徒・保護者が抱えている不安を一刻も早く取り除くため、一時的に公費で賠償することは理解する。

引き続き、当該職員への返済請求は無論のこと、管理監督の立場にあった者に対する求償についても早急に対応を進めて、市民に納得いただける結果となるよう不断の努力で取り組まれることを強く要望する。

令和5年度

一般会計補正予算

主な事業の紹介

住民税非課税世帯等物価高騰緊急支援
給付金給付事業

2億9,701万9千円

物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を給付します。



議案第25号 補正予算(第3号)

中小企業者等エネルギー価格高騰対策
支援事業

1億4,988万8千円

社会福祉施設等物価高騰対策支援事業

3,264万4千円

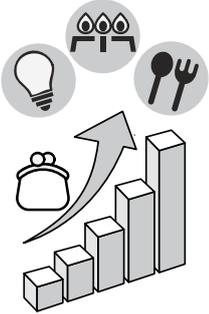
農業者物価高騰対策支援事業

1,771万3千円

公共交通事業者エネルギー価格
高騰対策支援事業

678万円

電力・ガス・食料品等価格高騰の影響を受けている市内の事業者等に対し、支援金を交付します。



議案第27号 補正予算(第4号)

郡ダム湖面活用推進事業

1,162万4千円

※寄附額 1,150万円



千葉県等との協議が整い、本年9月に全日本水上市場キー選手権大会を本市で開催できる見込みとなったことから、企業版ふるさと納税を活用し、大会開催に関連する事業費を増額します。

きみつSDGs教育推進事業

497万円

海洋教育パイオニアスクールプログラム助成金を活用し、市内小学校4校、中学校2校で、海と森のつながりやブルーカーボンへの理解を深めるための教育活動を実施します。



学校運営事業

845万6千円

周西南中学校の学校事務職員が私的に流用した学校納入金について、未返済分を賠償します。

人事案件に同意

人権擁護委員

渡邊 修 (西坂田)

農業委員会委員

- 内海孝夫 (宮下)
- 鮎川正幸 (貞元)
- 水野徳子 (練木)
- 小笠原武男 (大井戸)
- 笹本幸恵 (糸川)
- 宇野真弘 (鎌滝)
- 溝口勝美 (市宿)
- 小泉春水 (宿原)
- 齊藤昇 (西原)
- 重田忠男 (戸崎)
- 長谷川貢 (浦田)
- 鈴木隆 (高岡)
- 石井和 (高水)
- 神子純一 (日渡根)





出席議員全員が賛成した議案、請願、陳情（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第20号	君津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号～議案第15号	農業委員会委員の任命について（計14名）	議案第21号	君津市地域福祉推進センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
議案第16号	一般職の職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	議案第22号	君津市税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて
議案第18号	君津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議案第23号	君津市都市計画税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて
議案第19号	君津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	議案第24号	令和5年度君津市一般会計補正予算（第2号）についての専決処分の承認を求めることについて
		議案第25号	令和5年度君津市一般会計補正予算（第3号）

◆委員会提出議案

議案番号	件名
発議案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
発議案第3号	国における2024年度教育予算拡充に関する意見書について

◆請願

請願番号	件名
請願第1号	「新井白石没後300年展」を君津市と共催で行なうことを願う請願書

◆陳情

陳情番号	件名
陳情第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書
陳情第3号	「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	令和新政		創政会			きみつ未来		公明党		かがやき君津		新派		新派						
			三浦章	鶴岡一成	宇野晋平	村上幸人	小倉靖幸	下田劍吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	石上壘	松本裕次郎	磯貝清	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	齋藤利生	奈良輪政五	橋本礼子	三浦道雄	鈴木高大
議案第17号	君津市税条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第26号	損害賠償の額の決定について	○可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和5年度君津市一般会計補正予算（第4号）	○可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対

一般質問

Q & A

第2回定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問の大綱については下記のとおりです（通告順）
マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。



石上 壘 議員

P.6

きみつ未来

- ・快適なまちの実現について
- ・持続可能な公共交通について
- ・中学校の部活動について

松本 裕次郎 議員

P.6

きみつ未来

- ・令和5年度施政方針について
- ・公共施設について
- ・教育行政について

佐藤 葉子 議員

P.6

公明党

- ・地域公共交通の改善について
- ・安全・安心なまちづくりについて
- ・子育て家庭への切れ目のない支援について
- ・幸齢社会の推進について
- ・みんなにやさしい社会について

保坂 好一 議員

P.7

創政会

- ・公園管理について
- ・学校運営と施設管理について
- ・（仮称）貞元保育園の開園に向けた道路、橋の整備について

齋藤 利生 議員

P.7

かがやき君津

- ・市街地整備について
- ・広域行政について
- ・教育行政について

鈴木 高大 議員

P.7

諸派・須恵会

- ・君津市総合計画における将来デザインの実現について
- ・交通行政について
- ・学校教育について
- ・農林業振興について

橋本 礼子 議員

P.8

かがやき君津

- ・日本一チャレンジする市役所を目指して
- ・「誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち」について
- ・「安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち」について
- ・教育行政について

高橋 健治 議員

P.8

公明党

- ・市民が健康で元気に暮らせるまちについて
- ・ともに創る次世代につながるまちについて
- ・安心して暮らせるまちづくりについて
- ・地域住民の生活環境について
- ・火葬業務の管理運営について

三浦 道雄 議員

P.8

諸派・日本共産党

- ・市政運営について
- ・福祉・医療行政について
- ・教育行政について
- ・環境行政について

野上 慎治 議員

P.9

公明党

- ・市民が主役のまちづくりについて
- ・健康長寿のまちづくりについて
- ・市職員の働き方改革について

下田 剣吾 議員

P.9

創政会

- ・市民の健康を守るために
- ・公共施設マネジメントについて
- ・医療、福祉分野の経営改革について
- ・命を守る防災対策について
- ・道路のバリアフリーについて
- ・農政について
- ・選挙について
- ・消防団について





きみつ未来
石上 墨 議員

デジタル化による市民の満足度

Q 市民の利便性は向上したか。

A アンケート調査では、市のデジタル施策について便利と感じている人が62.5%であった。本年度は、電子申請や遠隔相談窓口サービス等の「行かなくていい市役所」の施策を展開していく。

JR久留里線の今後

Q 日頃からの利用増に向けた取組が重要と考えるが、市としての見解を伺う。

A JR久留里線活性化協議会を通じて、イベントの開催や、SNSを活用したキャンペーン等を行い、乗客の増加とともに、多くの方が久留里線に関心を持つきっかけとなった。今後も様々な取組を行い、地域内外の多くの方に久留里線をご利用いただくとともに、沿線地域の活性化につながるよう取り組んでいく。

市内循環路線バス

Q 近年の利用状況を見ると、利用者ニーズと乖離してきているため、見直しを図り、時代に即した路線に転換すべきと考えるが、見解を伺う。

A 平成4年2月から現在のルートで運行しており、車社会の進展などにより、日中の利用が少ないなどの意見もある。今後は、当該路線の再編に向け、交通事業者とも連携を図り、既存サービスの最適化につながるよう取り組む。



きみつ未来
松本 裕次郎 議員

経済と環境が調和したまち

Q ふるさと納税の寄附者のデータ分析からどのようなことが分かったのか伺う。

A 寄附者の5割強が東京、神奈川、千葉、埼玉の方であり、中でも東京都の40代男性からの寄附が最も多い結果となっている。

Q 商品企画や提案等については、どのようなものが考えられるか伺う。

A 昨今の物価高騰の影響を踏まえ、生鮮食品などの規格外品を活用し、コストパフォーマンスの高い返礼品を増やしていきたい。また、観光事業者等と連携した体験型商品など、話題性のある返礼品の開発なども手掛けていく。

小中学校の電話回線の増設

Q コロナ禍における対応などで家庭と連絡を取る機会が増えており、家庭連絡も順番待ちの状況であるが、電話回線の増設の検討状況を伺う。

A 電話の使用頻度が高くなり、必要な電話の発信信に支障をきたしている学校があることは把握している。連絡方法に学校公式LINEアカウントを活用し、電話対応の削減につながった学校もあるので、学校の状況により運用していく。学校公式のLINEアカウントを活用している学校はごこか伺う。

A 南子安小学校と周西小学校で活用している。ほかにも複数の学校で活用を検討している。



公明党
佐藤 葉子 議員

自転車用ヘルメットの購入費助成を

Q ヘルメットは命を守る手段として重要な役割を果たす。交通ルールの遵守に対する意識啓発強化とともにヘルメット着用率アップに向けた購入費助成について伺う。

A 県内で購入費助成を行っている自治体もあり、国・県の財政支援措置の動向等も注視し調査研究する。正しい交通マナーの実践を習慣付けられるよう関係機関と緊密に連携しながら推進していく。

養育費確保の支援強化

Q 養育費の取決めをしても受け取れていない状況も多い。国の補助金などを活用し、公正証書の作成支援と併せて保証会社への養育費保証料補助制度を構築すべきと考えるが、見解を伺う。

A 国の離婚前後親支援モデル事業の実施自治体は令和3年度で96自治体である。先進事例を研究し、実効性ある支援策を検討する。

終活の取組をサポート

Q 事前に自分の最期の迎え方を決める取組が広がっている。生前の早い段階から終活に取り組み、より前向きに生活できるよう、エンディングノートを提供する等の支援について見解を伺う。

A 講演会の実施継続やエンディングノートの書式をホームページから取得できるようにするなど、終活の普及啓発に努めていく。



創政会
保坂 好一 議員

君津中央公園市民ボランティア解散

Q 3月31日付でボランティア解散の通知があったが、今後、大変な労力が必要な花壇の管理などは誰がどのように行うのか伺う。

A 団体主導による活動を行っていたかどうかボランティアの方々と協議を重ねてきたところであり、市としてもその活動を支援していく。

Q 当面の間、職員の派遣による花壇の整備などができるか伺う。

A 公園を訪れる市民に憩いの場を提供するため、ボランティアの方々の協力が必要であり、当面の間、団体主導による活動ができるよう職員による支援をしていきたいと考えている。

保育園周辺の道路と富久橋とみひさの安全対策

Q 令和6年には（仮称）貞元保育園が完成する予定で、開園に伴い園児の送り迎えで、自動車の交通量が増すことが考えられる。地元住民は道路の交通渋滞や、富久橋の道路幅が狭いことや欄干が低いことで何らかの事故が起きないか心配しており、安全対策を講じることが必要と考えるが、見解を伺う。

A 富久橋の車両の通行抑制として、保育園の利用者に対し、極力幹線道路である市道六手・貞元線と市道北子安・貞元線を通行するよう促すとともに、通過する車両に向けた速度抑制の注意喚起を行っていく。



かがやき君津
齋藤 利生 議員

君津駅周辺のリノベーション

Q 君津駅周辺の中心市街地の活性化を強力に推進し、快適で住みやすく、にぎわいのある君津市の実現を図るための具体的な施策を伺う。

A 市内外から多くの人々が集まる玄関口として、魅力や求心力を高めるため、本年度は駅周辺が抱えるまちづくりの課題整理や幅広いニーズ調査を行い、具体的な施策を検討していく。駅周辺がにぎわいと活力のある中心市街地となることで、その波及効果を市全体に拡げ、快適で安心して暮らせる持続可能なまちを目指し、取り組んでいく。

令和5年度開通予定の本郷バイパス

Q 本郷バイパスの開通により、交流人口の増加に伴う駅周辺の活性化等が期待されているが、本市の取組について伺う。

A 富津市方面からのアクセスがより強化され、君津駅等の利用者の増加が予想されることから、開通後の波及効果について調査研究していく。

小中学校の施設整備計画

Q 君津市学校施設の個別施設計画において、施設整備を優先する学校が決まっているか伺う。

A 計画の第1期では周西小学校など7校を対象としており、周西の丘小学校以外の施設については、施設の躯体等の現状を調査の上、優先順位を見定めていく。



諸派・須恵会
鈴木 高大 議員

総合計画における将来デザインの実現

Q 多様な地区の特色に応じた拠点形成を図るため、民間事業者等と行政の連携が必要と考えるが、法木山周辺の利活用の促進について伺う。

A 法木山の市有地は、様々な分野においてポテンシャルを有していると認識している。今後、企業との連携に向けた情報収集を行うなど、当該エリアの利活用に向け取り組んでいく。

Q 日常生活に必要な施設や地域活動を行う場所を維持していくため、小糸小学校周辺の拠点機能の充実について見解を伺う。

A 市民センターが設置された公民館をはじめ、小学校や病院、商業施設等が集まった持続的なにぎわいづくりを目指しており、小糸公民館については、他の公共施設との複合化等も検討しながら再整備のコンセプト案をまとめ、地域住民等との対話や、公募により民間事業者から広く提案などを求める意見交換による調査を行っていく。

農業振興計画の今後の展開

Q 多様な担い手が活躍できる持続可能な農業の実現に向けた取組について伺う。

A 安定した農業経営の確立のため、農産物のブランドディングや新技術の導入により生産性の向上を図ることなどにより、農業をなりわいとして息づかせ、併せて水源涵養機能などの多面的な役割を持つ農地を守っていく中で持続可能な農業の実現を目指していく。



かがやき君津
橋本 礼子 議員

日本一チャレンジする市役所を目指して

Q 第3次君津市経営改革大綱と第3次君津市経営改革実施計画では何を実施し、どのような結果や成果に結びつけていこうとしているのか伺う。

A 都市経営の視点によるさらなる徹底した経営改革を断行し、強固な行財政基盤の構築を進め総合計画の実効性を確保していく。

医療的ケア児等への支援の推進

Q 対象を医療的ケア児に限定せず小児から成人までを意味する多様な障害児者に対して、実態把握や支援策、体制の拡充に努めていくと以前回答があったが、進ちよく状況について伺う。

A アンケート調査を令和5年1月から2月にかけて実施した。対象者81名のうち、60名から回答があり、支援策を検討していく。近隣4市による協議の場の設置に向けた検討も進めていく。

Q 今後、具体的にどのような支援策を検討していくのか。

A 今年度、庁内関係課による検討委員会を設置し、会議を実施している。今後、市内の介護老人保健施設や、医療機関における医療型短期入所等の対策の検討を進めていく。さらに地域生活支援拠点等の早期の整備に向けて取り組んでいく。



公明党
高橋 健治 議員

人工透析患者の通院

Q 中山間地域と市街地に住む方では通院にかかる自己負担額に大きな差があると思うが、見解を伺う。

A 住まいや病院の場所での通院にかかる負担は様々であると承知している。引き続き、福祉タクシー事業も含め障害のある方にとって、より有効な通院支援策について検討していく。

空き公共施設の利活用

Q 旧松丘小学校で5月にドローンスクールが開校したが、今後、そのドローンスクール業者とどのように関わっていくのか伺う。

A 旧松丘小学校を拠点としたドローンスクールの開校に大きな期待を寄せている。引き続き、行政と地域住民、事業者が連携を図りながら、ドローンスクールという新たな学び舎として、地域の活性化の拠点となるよう取り組んでいく。

防災・減災対策

Q 事前伐採は市道13路線が対象で、1路線が完了し2路線目が令和7年度までに完了する見込みだが、ペースを速めることはできないか伺う。

A 伐採延長が延びるごとに植林面積が増加し、育樹のため下刈り作業が数年間必要となり、伐採面積を大幅に増加させてペースを早めることは難しい状況である。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

JR久留里線の存続問題

Q 久留里線の存続問題に対する市のスタンスを伺う。

A JR東日本千葉支社から議論の申入れがあり、県が本市、JRなどともに、JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議を設置し、沿線3地区の住民代表の方に参加いただき、第1回検討会議を開催した。住民代表からは、様々なご意見や地元説明会の開催要望があった。今後は説明会でいただいたご意見等を踏まえ検討会議で丁寧な議論を重ねていく。

Q どのような形で検討会議の規約やメンバーが決定されたのか伺う。

A 検討会議の規約については、県と本市で協議を行い、検討会議で承認された。メンバーについても、委員の構成を調整し、協議の上決定したものである。

Q この問題を総合的に検討するため、検討会議のメンバーにJRの労働者、利用者等各方面の方々を加えるべきと考えるが、見解を伺う。

A 検討会議のメンバーは規約の中で決定したところであるが、県とも情報共有をしていく。住民の声が反映される検討会議であるべきと考えるが、改めて市長の見解を伺う。

A 総合的な交通体系について議論をしているところであり、今後も住民の皆様のご意見をしっかりと受け止め、丁寧な議論を進めていきたい。



公明党
野上 慎治 議員

まちづくり協議会の推進と効果的運用を

Q 市民協働のまちづくりを進めるためには、地域住民と行政が地域の課題について話し合い、課題解決に向けて協力して取り組む組織が必要であり、それを担うのがまちづくり協議会である。清和地域において、具体的にいつから、どのようなことに取り組むのか、またどのような支援を考えているのか伺う。

A 各地域の個性や特色を最大限に発揮したまちづくりを展開するため、秋頃を目途に市内全地域に向いて、丁寧な説明と市民との対話を行う。その後、地域づくりの機運の高まっている清和地域でまちづくり協議会設置の取組を進める。まちづくり協議会への支援については、市民活動支援課、市民センター、公民館等が十分な連携を図りながら、協議会の設置や運営についての支援、財政的な補助、協力連携事業の実施等、総合的、伴走的な支援を行い、市民と行政の協働によるまちづくりに取り組む。

安心して働ける会計年度任用職員制度の構築を

Q 会計年度任用職員制度については、様々な問題点が指摘されている。再任用が2回までという本市の規定が適切なかどうか見解を伺う。

A 再度の任用については、国の制度を参考に、連続2回までとしている。今後も、国の動向を注視しながら制度運営をしていく。



創政会
下田 剣吾 議員

高額な帯状ほう疹ワクチンに助成を

Q 強い痛みを伴う帯状ほう疹のワクチンは高額であり市の助成が必要と考えるが見解を伺う。

8年経つと更新できる鳥獣対策の電気柵

Q 耐用年数が過ぎた有害鳥獣対策の電気柵、鉄柵の更新を進めるべきと考えるが見解を伺う。

A 国の規定で電気柵の耐用年数は8年、金網柵は14年である。本市に設置された柵の4割が耐用年数を迎えたが、更新は1件に留まる。耐用年数を迎え、一定の要件を満たせば更新が可能であることを周知する。

ジェネリック（後発）医薬品で節約効果

Q 本市がジェネリック（後発）医薬品を活用し、どれくらい効果があつたと推計するか伺う。

A 生活保護における医療費の削減効果は平成30年からの5年間で約1億1千5百万円。国民健康保険は推計値で平成25年からの10年間で約30億円。後期高齢者医療では運営する県後期高齢者医療広域連合によると、平成27年からの7年間で約3千3百万円の効果があつた。子ども医療では保険者が多く算出が困難であるが、ジェネリックの使用割合は増えているため同様に削減効果があつたと認識している。今後も普及に取り組む。

議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

配信内容

定例会及び臨時会の本会議

注意

速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法

- ① 君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック。
- ② 左側に「本会議ライブ中継」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。

☆スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。通信費は利用者の負担になります。



議会配信はこちらから



千葉県市監査委員 協議会表彰

小林議員は、令和元年10月より市監査委員（議会選出）として尽力され、このたび、

監査委員制度の運営に関し特に功績のあつた者として、千葉県市監査委員協議会から表彰されました。



委員会 の 焦点

※議案名は、議案等の
審議結果(4ページ)
を参照してください。

各常任委員会では、付託された議案、請願及び陳情をそれぞれ審査しました。主な議案等の審査概要は、次のとおりです。

総務常任委員会

審査案件(議案第16号、議案第17号、議案第19号、議案第20号、議案第22号、議案第23号、議案第25号)

◆議案第17号

君津市税条例の改正

(主な内容)

- ・個人市民税について、令和6年度から、個人の市民税及び県民税の均等割と併せて、国税である森林環境税を年額1,000円賦課徴収すること。
- ・軽自動車税について、新たな車両区分として定義された特定小型原動機付自転車に該当する電動キックボード等について、種別割の税率を2,000円とすること。

問 森林環境譲与税の本市への譲与見込額・使途について伺う。

答 令和5年度は約3,094万円、令和6年度は約3,797万円を見込んでおり、主な使途として、災害時の道路や電線等への倒木被害防止策として、道路沿いの森林整備に活用している。(賛成多数で可決すべきものと決定)



森林環境譲与税を活用した事前伐採(白駒地先)

※反対・賛成討論については、2ページをご覧ください。

◆議案第25号(補正予算)

公共交通事業者エネルギー価格高騰対策支援事業

問 支援内容について伺う。

答 高速バス事業者5社に対して1路線あたり30万円を支援するものとし、タクシー事業者については、1事業者あたりの上限額を設定した上で、7社に対して対象車両1台あたり6万円を支援するものである。(全会一致で可決すべきものと決定)

教育福祉常任委員会

審査案件(議案第18号、議案第21号、議案第24号から議案第27号、請願第1号、陳情第2号、陳情第3号)

◆議案第21号

君津市地域福祉推進センター ゆうゆう館の廃止

(内容) 個別施設計画に基づき、機能集約、施設の除却に向けて取り組んできた君津市地域福祉推進センターゆうゆう館について、利用団体の活動拠点の移転先が見通しが立ったことなどから、令和6年3月31日をもって閉館しようとするもの。

問 跡地利用の方向性について伺う。

答 土地を売却する方向で検討を進めている。(全会一致で可決すべきものと決定)



地域福祉推進センター ゆうゆう館

◆議案第25号(補正予算)

きみつSDGs教育推進事業

問 助成金獲得の経緯について伺う。

答 令和4年度に開始したSDGs教育について、昨年10月に日本財団及び笹川平和財団の海洋教育パイオニアスクールプログラム助成金の公募に応募したところ、採用されたものである。(全会一致で可決すべきものと決定)



◆議案第26号

損害賠償の額の決定

(内容) 周西南中学校に勤務していた学校事務職員が平成29年3月から令和5年3月までの間、保護者から預かった教材費や修学旅行積立金から1,289万6,812円を私的に流用していたもので、発覚後、一部返済があったものの、同校の2・3年生の修学旅行積立金845万5,848円について、返済のめどが立っておらず、同校の保護者163名から委任された周西南中学校PTA会長から市に対して損害賠償請求がなされたもので、市は学校の設置者であり、当該職員の使用としての責任があることから、損害賠償を行おうとするもの。

問 賠償を行った後の求償について伺う。

答 本人への求償は当然のことながら、

校長等の管理職についても、管理監督責任の有無や因果関係、過失の程度確認等を勘案し、慎重な判断が求められるため、弁護士と相談を重ねながら対応を図っていききたい。

意見 損害を公費で補填することについては、市民からも懐疑的な意見が寄せられており、2年生分の金額も含まれている本議案の賠償金額についてはさらに議論が必要と考える。(賛成多数で可決すべきものと決定)

◆ 請願第1号

「新井白石没後300年展」を君津市と共催で行なうことを願う請願書

賛成討論 新井白石は歴史の教科書にも掲載されるなど、広く知られている人物であり、没後300年となる令和7年に企画展を行うことは非常に意義のあるものと考え、新井白石について造詣の深い請願者と共催することで、展示の内容がより充実したものとなることを期待する。(全会一致で採択すべきものと決定)

建設経済常任委員会

審査案件(議案第25号、議案第27号)

◆ 議案第25号(補正予算)

農業者物価高騰対策支援事業

問 対象者、対象経費等について伺う。

答 対象者については、認定農業者、認定新規就農者及び「人・農地プラン」の中心経営体で、合計150名程度を、経費については、水道料

金を除いた動力光熱費を対象に補助率10分の1、上限額を30万円として補助しようとするものである。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆ 議案第27号(補正予算)

郡ダム湖面活用推進事業

意見 過去の大会では、トイレや着替え場所が不足するなどの課題もあったことから、それらの解消に努めるとともに、商工会議所をはじめ関係機関と連携し、特産品の提供やPRを行うなど観光振興に資する大会となるよう望む。

執行部から これまでの実証実験で見えてきた様々な課題・問題点について、関係団体等と連携しながら、必要な改善に向けて取り組むとともに、この大会を契機として、地域活性化等が図れるよう努めていきたい。(全会一致で可決すべきものと決定)



郡ダム湖面活用の様子 2021年11月
全日本学生水上スキー新人戦



※議案第25号及び議案第27号の内容については、3ページを参照してください。



公共交通調査特別委員会

令和5年5月11日(木)～12日(金)

視察先

新潟県村上市、山形県鶴岡市

スクールバスを活用した公共交通について(村上市・鶴岡市)

概要 (村上市) 高齢化が進み、交通資源が減少している市北部において、令和4年度からスクールバスへの地域住民の混乗や空き時間を活用した実証運行を行っている。

(鶴岡市) 昭和50年代に路線バスが廃止となったことを受け、スクールバスへの地域住民の混乗を開始した。

視察を終えて いずれの事業も地域住民の利用はごく僅かで、スクールバスの混乗は、交通資源の有効活用としての発想はよいが、実際の乗客のニーズに合わないということと、説明や周知等に多くの労力と時間が必要で、導入にあたっては課題の多い事業であることを実感した。

路線バスの利用促進について(鶴岡市)

概要 鶴岡市では令和4年10月から、中心市街地を運行する市内循環バスのリニューアルを行い、公共交通の利用促進を図っている。前年同期間と比較して約3倍となる2万9千人が利用しており、取組の効果が表れている。

視察を終えて

コロナ禍での利用者の減少により路線の縮小などが起きそうであるところ、綿密な計画のもとに路線拡大、運行本数増加という逆転の発想で利用者の増加を考えたいことに感銘した。



鶴岡市内循環バス

行政視察研修報告

先進地レポート



左から下田議員、橋本議員、三浦議員、小倉議員

全国市議会議長会 永年在职議員表彰

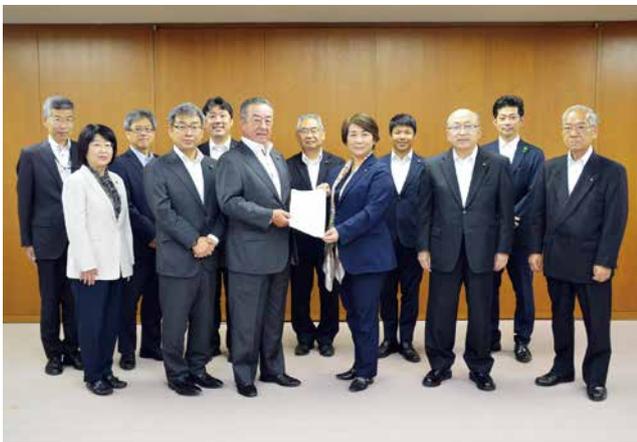
永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展にご尽力された功績により、次の4名の方が表彰を受けられました。

- 【20年 特別表彰】 三浦 道雄 議員
- 【15年 一般表彰】 橋本 礼子 議員
小倉 靖幸 議員
- 【10年 一般表彰】 下田 剣吾 議員

脱炭素社会実現に向けた 提言を行いました

脱炭素社会調査特別委員会（令和3年12月設置）では、本市に適応した脱炭素社会の実現に向けた取組等の調査・研究を行ってきました。

去る5月12日、提言書手交式を行い、地球温暖化対策の取組推進のため、第5次君津市地球温暖化対策実行計画（素案）に対する意見と脱炭素社会実現に向けての提言を行いました。



左から、
竹内経済環境部長、橋本委員、高橋健治委員、松本副委員長、下田委員、高橋明委員長、野上委員、石井市長、宇野委員、三浦章議長、齋藤委員、三浦道雄委員

議場見学によろそ！

7月4日に周西の丘小学校の3年生、7月19日に小櫃小学校の3年生が議場見学に訪れました。議会についての説明が始まると子どもたちは熱心に耳を傾け、説明後はたくさん質問がありました。また、実際に議席に着席してもらい、市議会の雰囲気を感じてもらいました。



周西の丘小学校 7月4日



小櫃小学校 7月19日

令和5年 第3回定例会 8月10日(木) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／奈良輪 政五
- 副委員長／高橋 健治
- 委員／佐藤 葉子 石上 壘 小倉 靖幸

- 発行／令和5年8月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会議務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>